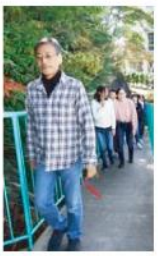
TONEYAMA

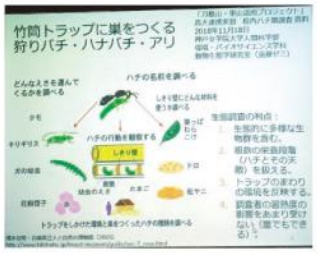
大阪府立刀根山高等学校 〒560-0045 豊中市刀根山6-9-1 TEL:06-6843-3781 FAX:06-6843-1716 H30-No.13

裏山のハチ調査

「刀根山・里山活用プロジェクト」高大連携講座の一環で今回３回目となる「裏山のハチ調査」を１１月１７日（土）に実施しました。

今回も神戸女学院大学人間科学部遠藤知二教授と研究室の学生５名に本校生徒と教員そして豊高生物研究部、合計１５名指導いただき、本校の裏山に生息するハチについて竹筒トラップを用いた調査を行いました。





【調査対象】調査対象のハチは、群れを作らずアオムシやクモを狩る「狩りバチ」で、狩りは幼虫の食糧確保のために行います。竹垣やわらぶき屋根の竹筒やヨシ筒に鳥のように巣を作って子育て（幼虫の食料にする獲物を捕らえて毒針で毒を注入し神経を麻痺させ、その後、巣穴に獲物を運び入れ、卵を一つ（種によっては複数）産み付けます。雌は巣を泥などで閉じて出ていき、二度と戻りません。）をするハチの仲間です。

人を刺すことのないおとなしいハチです。鳥の巣箱のように、軒下に竹筒を束ねた「竹筒トラップ」を仕掛けておくと、子育てをするハチ達を呼び寄せることができます。

【トラップ回収】裏山数か所に竹筒トラップを７月から仕掛け、この日に回収しました。

９月の台風で一度地面に落ちたものがありましたが、幾つかの竹筒は泥でふたがされていました。

【巣の有無を確認】

回収した竹筒を小刀で縦に２つに割り、蜂の巣の有無を確認しました。すると、何本かに立派な泥で作った巣と中に幼虫が見つかりました。

【記録】

次は、見つけた巣や幼虫の様子を記録用紙にスケッチとデータを取りました。

【結果】

今回はガの幼虫を狩るオオフタオビドロバチやクモを狩るヒメクモバチが見つかりました。これらの「狩りバチ」がいるということは、刀根山高校の裏山は自然環境が比較的良好に保たれている証明になりました。